

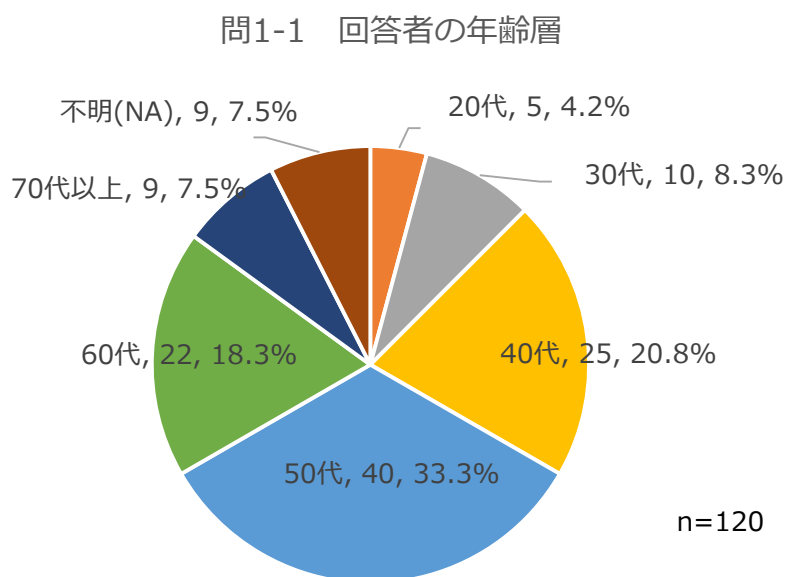
SIP 第3期「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」 シンポジウム「人口減少を機にひらく未来社会」参加者アンケートの結果

シンポジウム終了後、参加者に対してアンケートを行いました。いただいたご意見やご感想を一部紹介させていただきます。

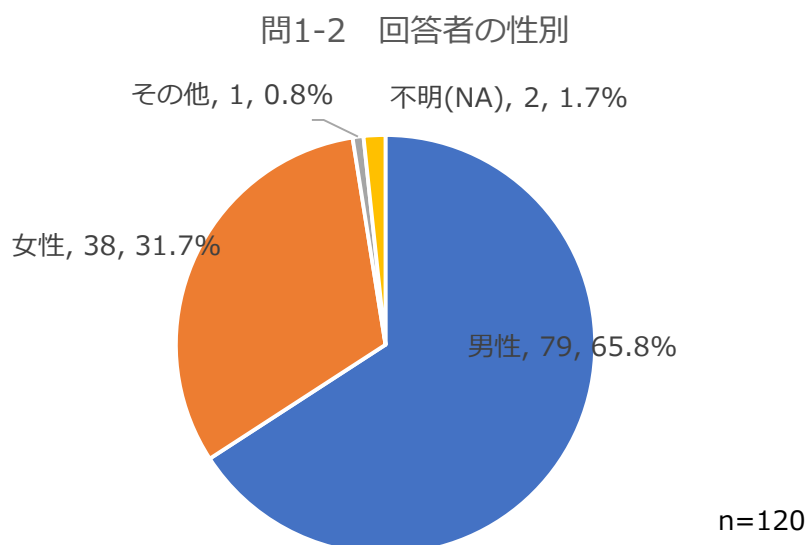
- ・実施方式：Zoom ウェビナーのアンケート機能を用いたオンラインアンケート、回答は無記名。
- ・有効回答数：120 名
- ・回収率：34.3%（一般参加者 350 名：会場 73 名、オンライン 277 名）

※アンケート回答では会場・オンラインの区別はせず

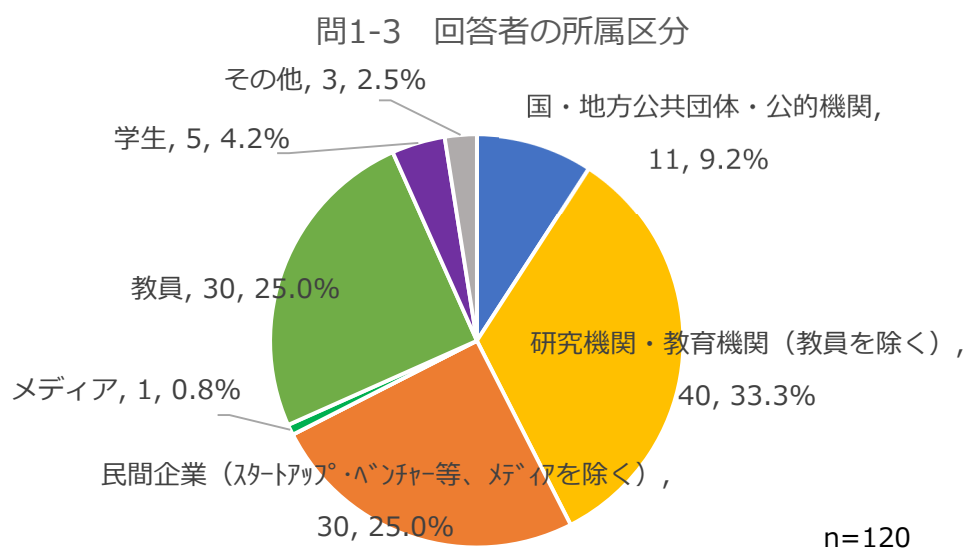
<1-1> 年齢



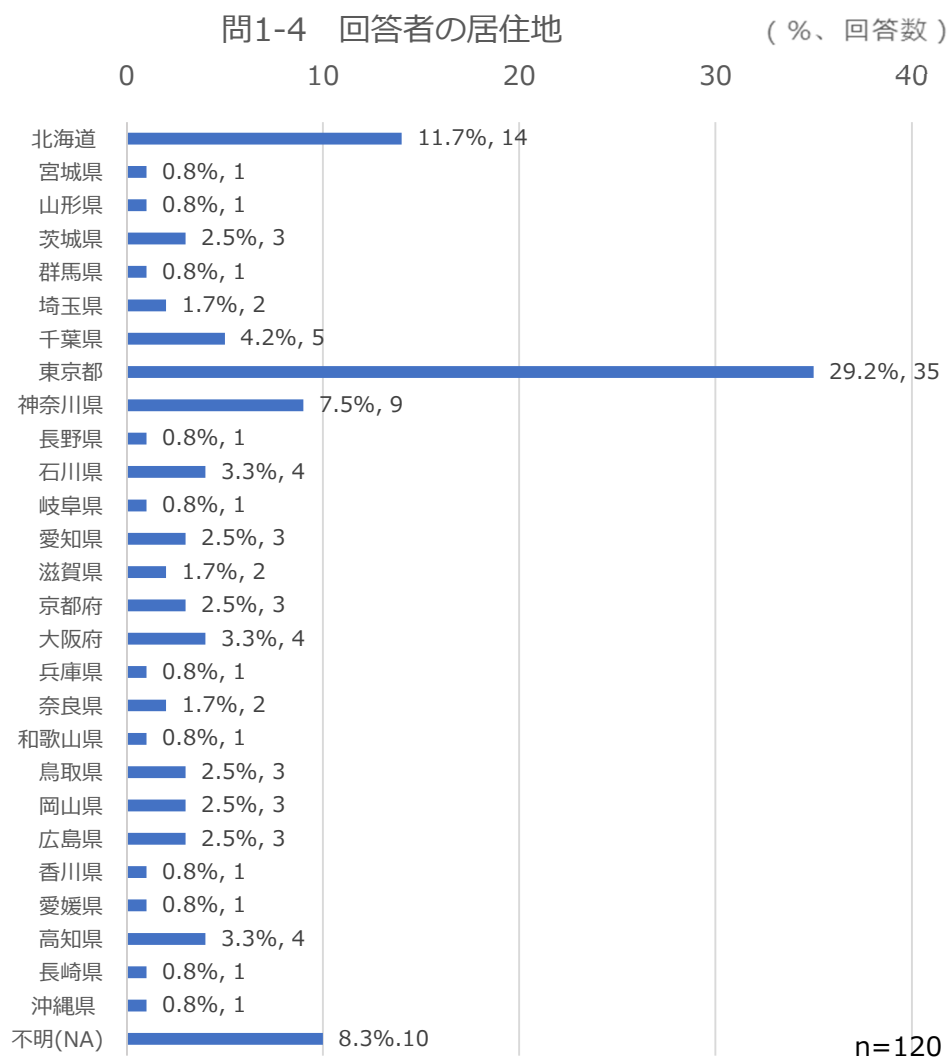
<1-2> 性別



<1-3> 所属区分

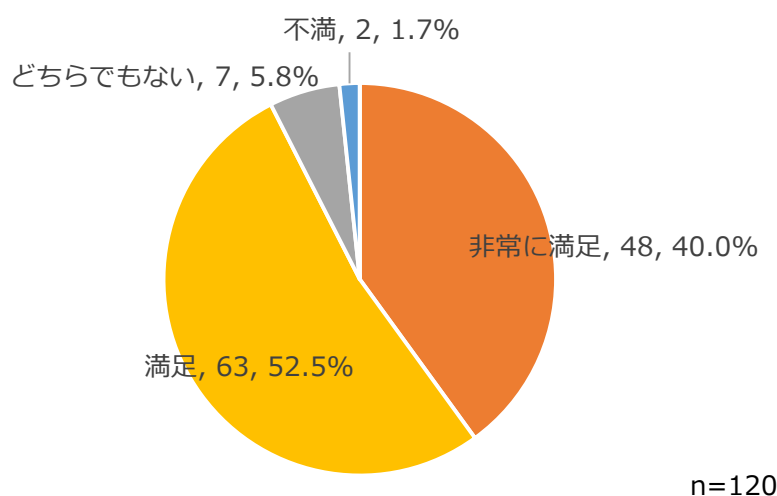


<1-4> 居住地



<2-1 Q1> シンポジウム全体に対する満足度

問2-1Q1 シンポジウム全体に対する満足度



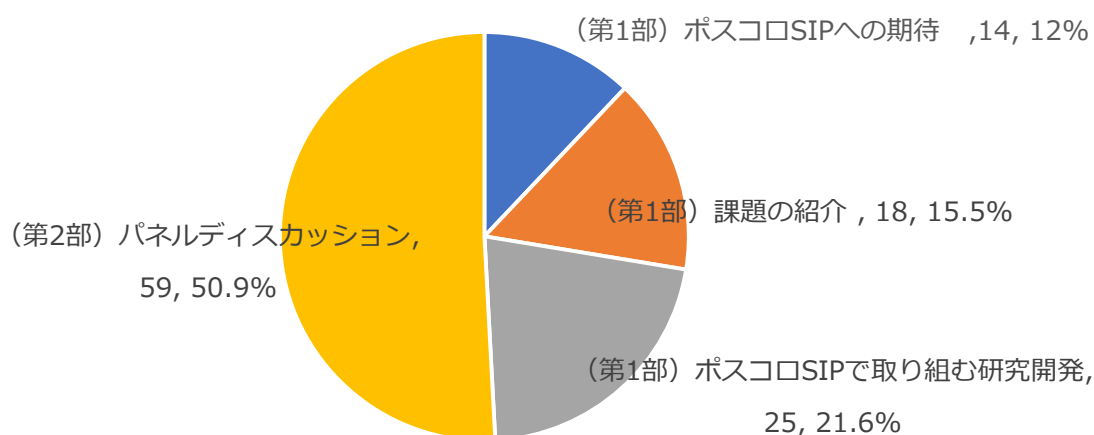
<2-1 Q2> シンポジウム全体に対する評価の理由（記述回答より抜粋 ※以下同様）

満足度	評価の理由
非常に満足	人口減少の中で、次世代の子供たちの数少ない一人ひとりに、後世引継いでもらうために今とどのように向き合って共に歩む必要があるか、様々な取組みをされている事について、学び把握することが出来ました。普段聞くことが出来ない地域の方々の御話を聴けて良かったです。
非常に満足	これから生きていく若者たちに、多様な選択肢を技術と仕組みで提供すべきだという気付きを得ました。また、若者たちが「選択できない」という悩みを抱えていることも新しい気付きとなりました。
非常に満足	SIP での直近の取組だけではなく、目指す世界の理解の解像度が上がったため。
非常に満足	最初（シンポジウムを聴く前）、時間が長いのではないか、と思っていましたが、あっという間に時間が過ぎました。非常に満足しています。
非常に満足	とてもおもしろかった。今日の皆さんが本当に既存の概念や思い込みを超えた社会を実現した未来が見たいと思った。
満足	自治体職員として、人の多様な価値観を活かしていける街づくりをしていきたいと考えたことに加え、自身の今後の生き方も考えさせられるいい機会になりました。
満足	興味を持っていながらも普段は遠い分野の専門家からの、最先端の視点や、活きたトピックが大変刺激になった。
満足	ポストコロナの社会をどう幸せに生きていくか、ということについて考えを巡らせることができました。

満足度	評価の理由
満足	少子高齢化、東京一極集中が進む日本をどのように変えるのか、非常に斬新な視点が多々あり、参考になった。
満足	自分で価値観を形成していく能力を鍛えることが、子どもの教育では大事だと考える時間になった。
どちらでもない	物事の本質と思われる議論である部分と、その談話の先に何があるのかと感じる部分の両方が併存していたように思うから。
不満	理想は素晴らしいが、何を研究開発しているかわからなかったのです。

<2-2Q1>最も満足度が高かったセッション

問2-3Q1 最も満足度が高かったセッション



<2-2Q2>最も満足度が高かったセッションに対する評価の理由

①最も満足度が高かったセッション：(第1部) ポスコロ SIP で取り組む研究開発

評価の理由
研究テーマとして社会実装を見越して考えられていたから
東広島市の学校校了、北海道の実験など具体的な事業の紹介は非常にためになったし、日本の未来に対する可能性を感じた
自分が今取り組んでいる課題のヒントがたくさんあった。
いろんなチャレンジの中から有効なものが育っていくものと思う。失敗を恐れるな、というより、失敗は成功の母という言葉が当てはまるのではないかな。

②最も満足度が高かったセッション：（第１部）ポスコロ SIP への期待

評価の理由
全てのセッションが良かったです。最初にこのプロジェクトの目的を明確化してくれたので、他のセッションが聴きやすくなりました。
共通の課題意識を持っていたため。
今ある技術を使うことで、学校の適正規模の課題や地方での教員の力量形成に変革が起き始めていることを知れた。

③最も満足度が高かったセッション：（第１部）課題の紹介

評価の理由
大局視点での課題意識を前向きに語っていただけたので、こちらもピンチをチャンスに変えようというモチベーションが湧いた。
西村先生の一人当たり県民所得の分析が新鮮だった。地域創生に取り組むモチベーション向上につながる話だった。
PD の PJ 自身の意味、価値に関する説明が面白かったです。
新たな視点からの課題の捉え方に気づかされた

④最も満足度が高かったセッション：（第２部）パネルディスカッション

評価の理由
国、大学教授、各界のイノベーターの皆様の叡智を結集し、人口減少社会、教育の地域間格差などの社会課題の解決のため、コロナで分断されて孤立した個やコミュニティの新結合の試みを興味深く拝見でき、心強かったです。
これまでは画一的な社会だったので、どちらかというと「悩み」も画一的だったのだと思います。近年少しずつ選択肢が増えている中、「悩み」も多様化していることを今回のパネルディスカッションで知ることができました。
ポストコロナの社会でウェルビーイングを高めるために考えるべきことがそれぞれのパネリストの先生方の視点から語られ、刺激を受けました。
これからの日本はどうあるべきか、ということを考える時間であったと思うが、自身の立場で何ができるのか、そして自分が何をしたいのか、を改めて考えるきっかけにもなった。
きれいな理想ばかりではなく現実を見ている方々の話だと実感したから
ファシリテーターの西村先生のコントロールが素晴らしかったので、多くの話題を深掘りしてくださって参考になる話を楽しく伺えた。
SPD の先生方だけでなく、現場で活動されているお三方が参加されていて話しが多方面にわたり、有意義だった。

<3> シンポジウム全体に対する意見・感想等

シンポジウム全体に対する意見・感想等
お一人お一人の目指す姿はとても素晴らしいので、どうアプローチして、どんな結果が出るのか楽しみです。
本質的な議論がなされており、とてもよかった。まだ夢のある未来を想像していいんだということを研究から発信するのは素晴らしい。
活き活きと活動されている専門家の活発な声を聞くことができるこのようなチャンスは素晴らしいと思います。多くの人がこのような話を聞いて刺激を受けて、日本を良くしていくことが大事だと思います。
全体的に学びの多い、というだけでなく、とくにパネルディスカッションでは心に栄養をいただけたような気がしています。時間的にやむを得ないと思っていますが、パネルディスカッションにオーディエンスの声も入れられるとうれしく思いました。
パネリストの皆さんが積極的にプロジェクトに参加していらっしゃることが伝わってきました。企画いただきありがとうございました。
とても充実した内容で、登壇者、パネリストの方々の多様性もシンポジウムをより一層興味深くしていたと思います。どうもありがとうございました。
事前資料や、開催に関わる案内の連絡など、とても丁寧で、数日前から、楽しみにしながら、参加することができた。例えば、こうした事前準備の様子が伝わるような事務局の方のお心遣いは、楽しく参加していくためのキー行動となるのだと感じました。今回はオンラインでしたが、機会があれば、現地で、熱気込みの形で参加したいと思いました。ありがとうございました。

様々なご意見、ご感想、誠にありがとうございました。